



素直に謙虚に

土曜日の模試はどうだったろう？ 基礎理科の難易度は易しかった？ 一方、専門理科は難しかった？ 解く問題の指定があった日本史・世界史はなかなか手強かった？ そして、基礎固めをしなくてはならない国数英の結果やいかに？…と、今回の結果は気になるところが色々あるが、それは君たちも同じだろうから、ぜひ復習を徹底的に行って、これからの学習に備えてほしい。

ところで、理系にもかかわらず、1時間目の理科の時間に2科目解いて提出してしまった人がいるそう（文系の基礎理科が60分2科目なのであって、理系は60分で1科目）。そんなミスをするはずがないと思っていても、してしまうのがミスなのである。こういう経験をしておくことも模試の大きな意味である。むしろ、模試で色々やらかした人の方が、本番では安全かも…ね（笑）

＊

さて、明日はいよいよ選択科目の提出日である。迷っている部分がある人のために、最後の判断ポイントを示しておこう。

理科と社会の2科目選択で、どちらを午前にするかは、「一生懸命取り組みたい科目＝私立受験の際に使う科目」を「午後にする」というのが原則である。午後はどうしても眠たくなるが、だからこそ頑張renaさいという意味である。また、2科目を必要としない人は、必修選択の1科目を午前中に選択することになるから、午後に選択している人は2科目目が必要な人ということになり、だからこそ授業の真剣さが高まることが予想されるというわけだ。

自由選択で、その科目を選択しようか迷っている場合の考え方は、

①選択することで、イヤでも勉強する
②選択することで、中間・期末考查があるという点がポイントになる。そもそも迷っていること自体、「選択したくないなあ…」というマイナスの気持ちが根底にあるはずだから、その気持ちを敷衍して、「だから勉強しない…」とならないような対策、例えば、塾や予備校で勉強する、友だちと一緒に勉強する…といった対策がとれているならよいが、安易に「自分で勉強する」という（一見偉そうな）道を選ばないことが肝心である。過去の経験から言わせてもらえば、「自分で勉強する」は、結局「何もしなかった…」に通じることが圧倒的に多いからである。

朝、決まった時間に起きられない人が、決まった時間に勉強などできるはずがない。忘れ物をしないで学校の授業に臨めない人が、自分を律して学習などできるはずがない。そういう（イヤだけど）単純な事実を素直に認識してほしい。そして、だからこそ、決められたことを守らなければならない「学校」をうまく活用してほしいと思うのである。

ついでに、「自分で勉強する」よりも「プロから習う」ことがどれだけ効果的か、これまた素直に考えてみてほしい。一度習った「倫理」なら自分で学習できるだろうが、初めて取り組む「政経」なら、私は「プロから習う」方がイイと思う。プロの力を甘く見ないことである。学校と予備校を混同している者や、謙虚さを忘れた者には、決してイイ結果はもたらされないことを強調しておきたい。